

CBP導入で年間610万円の情報投資効果（A社事例）

数字で分かる

CBP導入による情報投資効果

※本資料の分析結果はCBPによる情報投資効果をシミュレーションしたものであり、効果を保証するものではありません

本紙では、テクノスジャパン株式会社が開発/提供しております
CBP（Connected Business Platform）の情報投資効果について、
ABC/ABM※を活用して実際の利用ユーザー様の事例をベースにまとめております。

本紙が、貴社の受発注/会計業務の効率化に向けた一助となれば幸いです。

※ ABC/ABMとは？

1. ABC: Activity Based Costing（活動基準原価計算）

業務を棚卸し（定量化）し、業務量の把握（定量化）をすることで業務活動を可視化して、それがどのような価値を生み出しているかを計る手法。

2. ABM: Activity Based Management（活動基準原価管理）

ABC分析によって、サービス向上とコスト削減を両立させ、経営資源の最適化を実現する経営手法。

ABM = 現状調査 + ABC分析 + 改善案策定

1. 事例について
2. CBP導入前のA社の業務上の課題
3. CBPによる課題解決
4. CBP導入企業における情報投資効果 - エグゼクティブサマリー
 - 4-1. CBP導入で 年間610万円 / 5年累計で2,300万円 の情報投資効果
 - 4-2. 業務活動コストの低減
 - 4-3. 取引先における業務活動コストの低減
5. 企業間をつなぐプラットフォーム「CBP」 とは？
6. 会社概要/お問い合わせ

事例について

本資料で取り上げさせていただく、CBPを使って情報投資効果を生み出した企業様の情報を記載いたします。

A社企業情報

- ・ 業種：情報サービス業
- ・ 従業員数：約400名
- ・ 受発注業務の効率化にCBPを利用

受発注業務に係る課題

- ・ 年間のABCコスト：約1,300万円
- ・ 月間の処理量
 - 注文伝票数：100枚
 - 作業報告～検収にかかる業務工数：200人/日
 - 請求伝票数：100枚

CBP導入のコスト

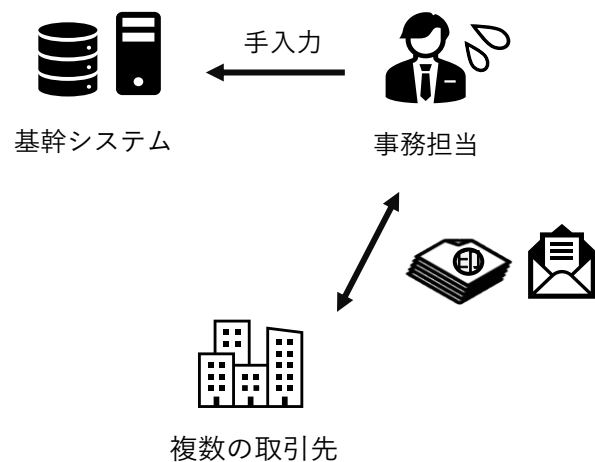
- ・ 初期費用：1,000,000円
- ・ 年間ランニング費用：360,000円

CBP導入前のA社の業務上の課題

Before アナログな処理により、受発注業務が複雑化

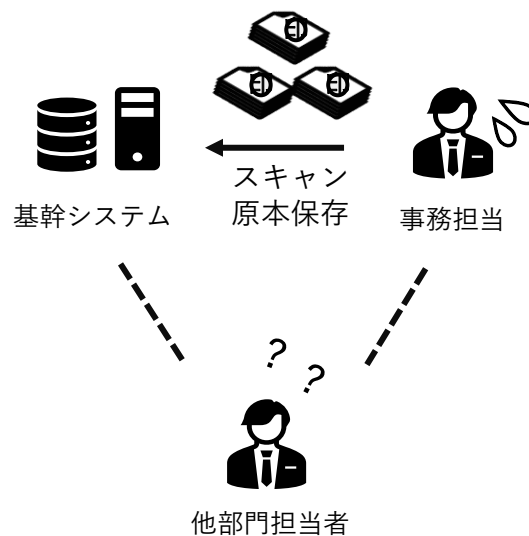
①メールと紙の受発注が基本

- ➡ 基幹システムへの手入力、転記作業の負荷が発生
- ➡ ヒューマンエラーが起きる



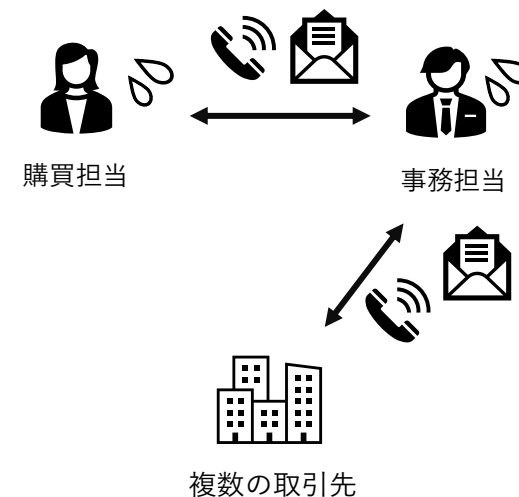
②受領した書類はスキャンし、原本保存する必要があった…

- ➡ 非効率的なタスクの発生
- ➡ 部門間のコミュニケーションエラー



③全ての検収確認を電話やメールで行っている

- ➡ 煩雑な確認作業
- ➡ 納期遅延の発生



CBPによる課題解決

After 企業間取引業務をクラウド上で完結。大幅な業務効率化を実現

①基幹システムとのデータ連携

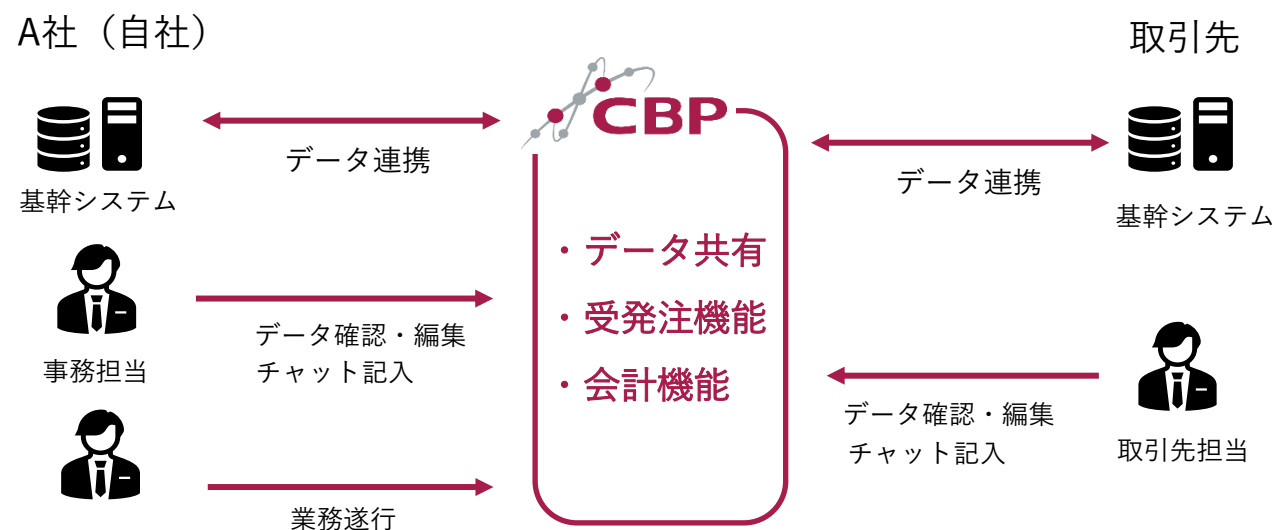
- ➡ 基幹システムへの手入力不要
- ➡ 紙運用・転記作業の根絶
- ➡ ヒューマンエラーの解消

②取引データを部門間・企業間で共有

- ➡ 部門間・企業間の認識齟齬を根絶
- ➡ 照合作業が不要
- ➡ 処理時間短縮による納期遅延の解消

③コミュニケーション情報の一元管理

- ➡ チャット機能によりシステム上で取引先とのコミュニケーション情報を一元管理



CBP導入後の 情報投資効果



A社はCBPを導入することにより、取引先を巻き込んだ業務効率化を実現し、短期間での投資回収を可能としました。

1. 情報投資効果



年間600万円超

の投資効果（活動コスト）



5年間で累計 2,300万円

の活動コストの低減



投資回収期間

1年3ヵ月

2. 業務の効率化



受注業務

49%の活動コストを低減



発注業務

40%の活動コストを低減

3. 取引先でも効率化



取引先X社

47.2%の活動コストを
低減



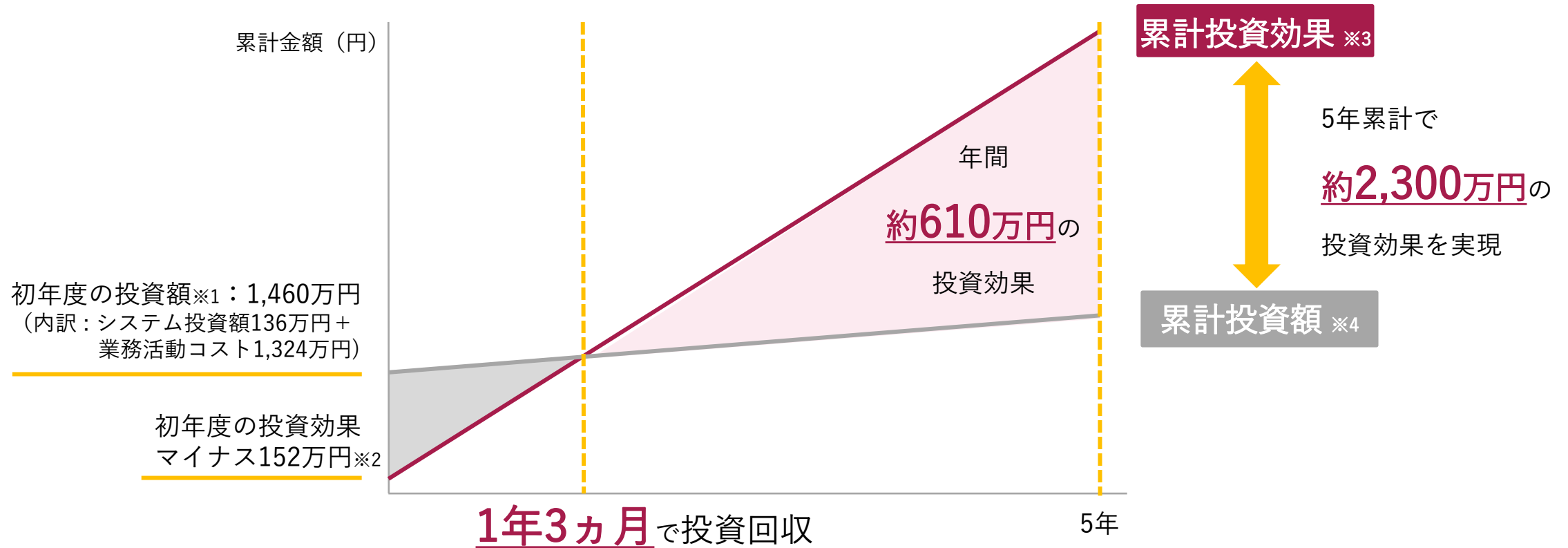
取引先Y社

46.9%の活動コストを
低減

※本分析結果はCBPによる情報投資効果をシミュレーションしたものであり、効果を保証するものではありません

1. CBP導入で 年間610万円 / 5年累計で2,300万円 の情報投資効果

下記グラフは、A社がCBPを導入した際にかかった初期コストと、以後5年間の運用でどれだけの情報投資効果があるのかを示したグラフになります。



※1 投資額：(CBPの導入・保守費用) + (発注業務に関するABCコスト)

※2 導入1年目は、CBP利用の企業と既存の取引方法の企業が並存しているため、
取引業務の運用パフォーマンスが一時的に低下している

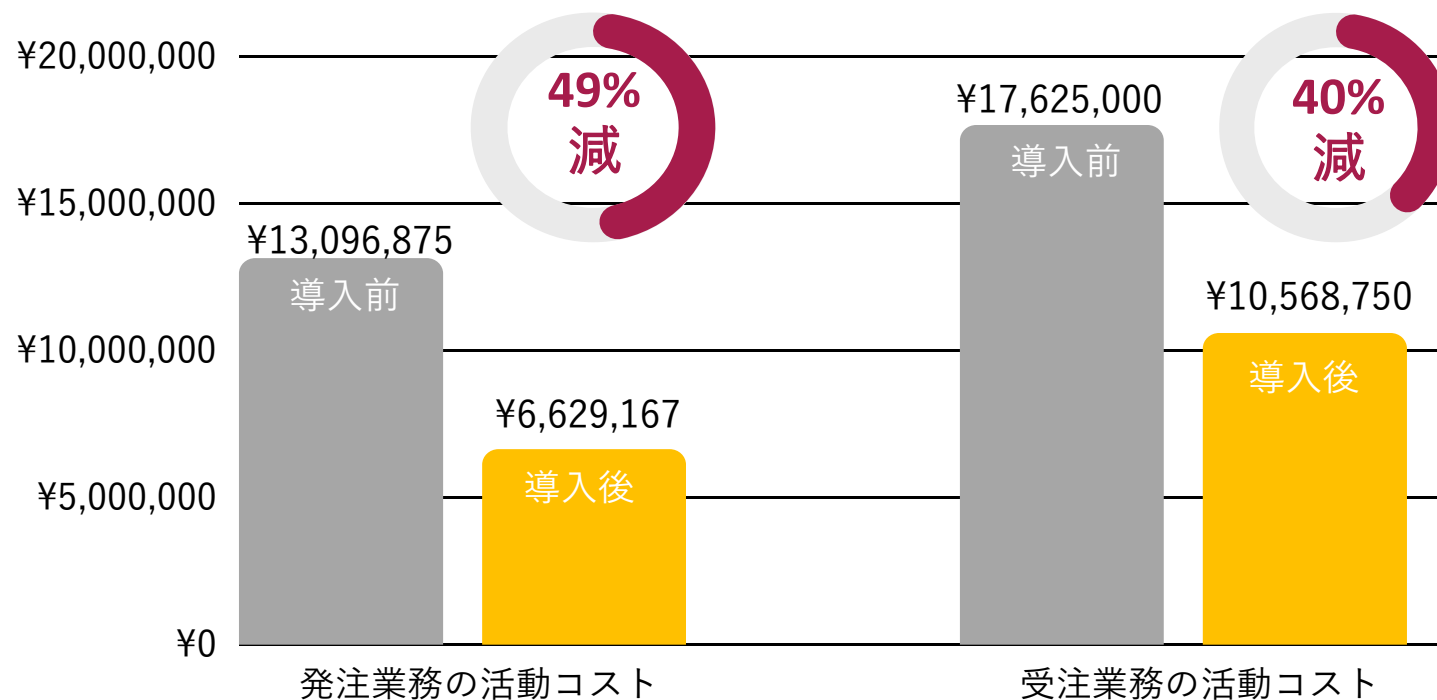
※3 累計投資効果：(CBP導入による発注業務の削減コスト) - (投資額)

※4 累計投資額：5年間累計の投資額

2. 業務活動コストの低減

発注業務で49% 受注業務で40%の活動コスト低減を実現

A社における受発注業務の活動コスト比較（単年）

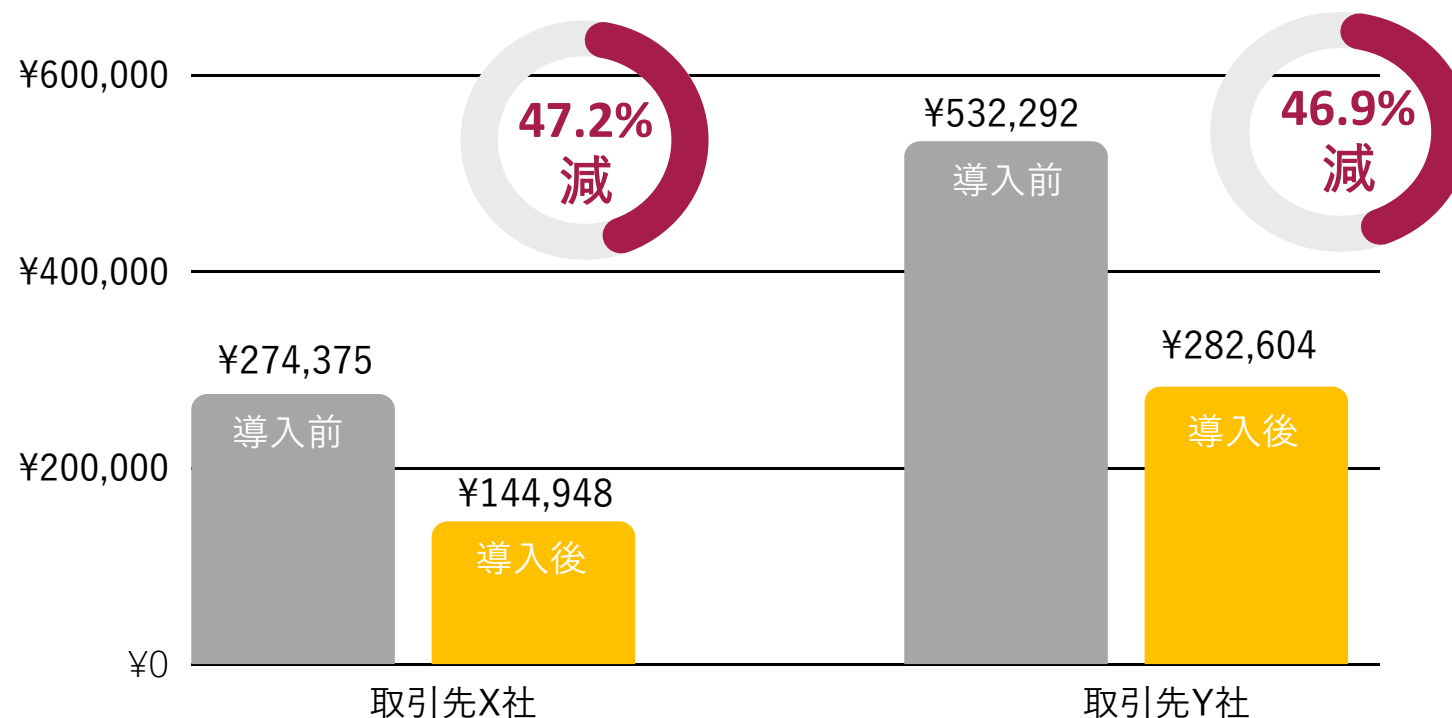


3. 取引先における業務活動コストの低減

取引先においても受注業務の活動コストを **47%** 低減

※取引先のシステム利用料は無料

A社の取引先における受注業務の活動コスト比較（単年）



圧倒的な情報投資効果を実現する

CBPのご紹介



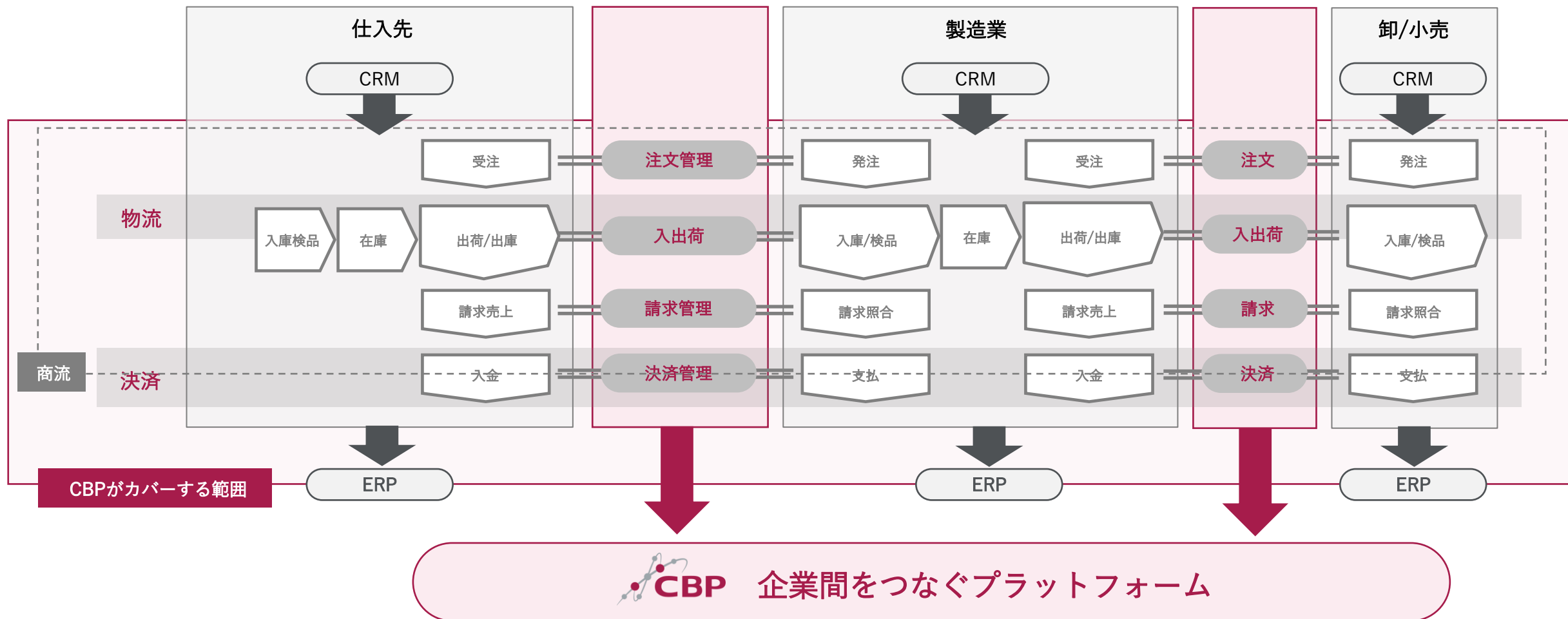
Connected Business Platform

商標登録登録 第6504398号

企業間をつなぐプラットフォーム「CBP」とは？



各企業が持つシステム同士が連携し、企業間データを齟齬無く、柔軟かつリアルタイムに活用していくための協調プラットフォームです。企業間のデータをつなぐ「データ連携基盤」と、データを溜める、活かす「企業間取引基盤」の2つのコア基盤で構成されており、データ活用によるコミュニケーションを図り、バリューチェーン全体での生産性向上を実現します。



CBP注文決済サービス機能全体概要

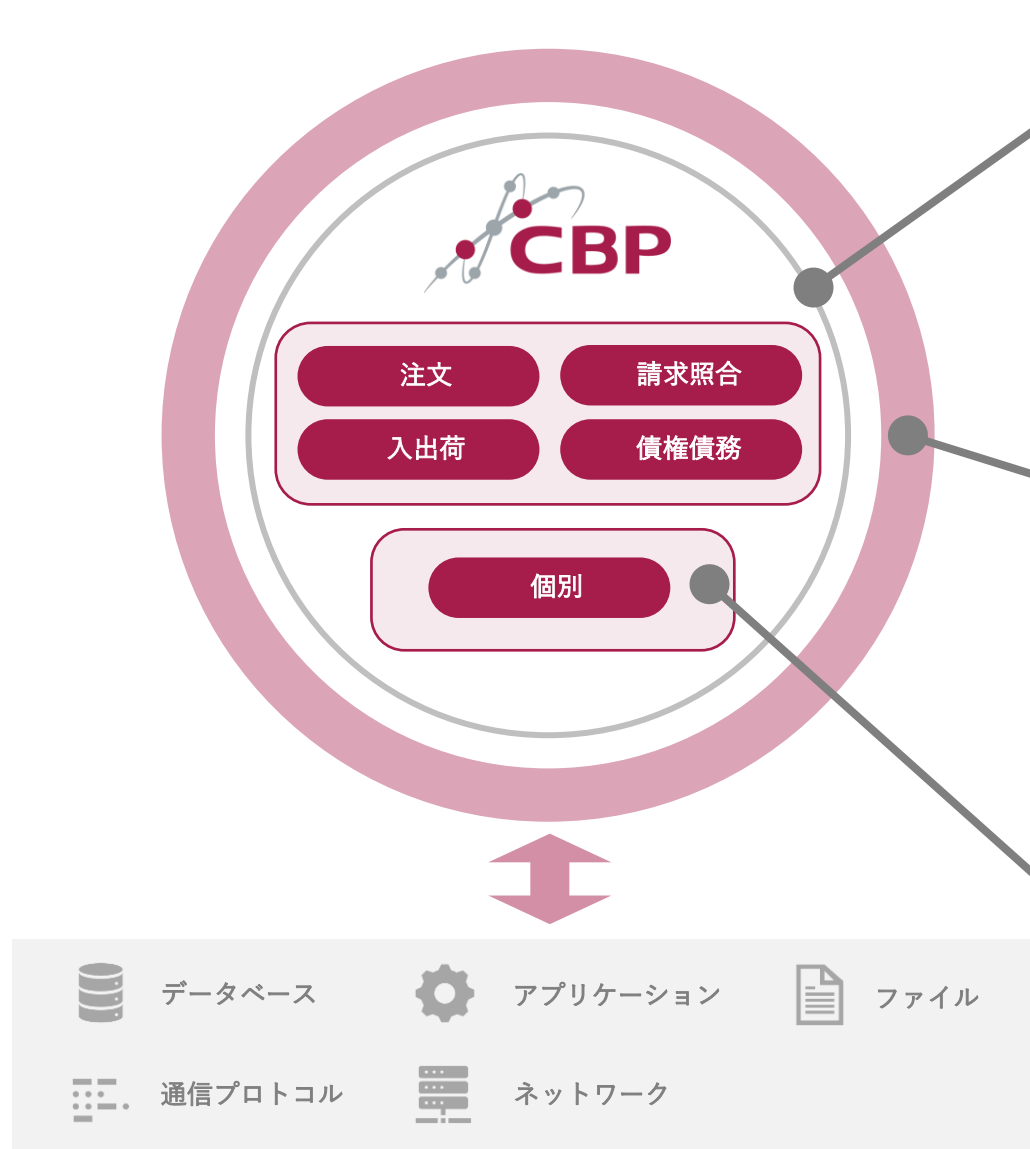
受注企業

発注企業



クラウド上に一つの取引事実

企業間のデータ共有により取引業務の円滑化を実現



① 企業間の注文決済が円滑に

■取引事実/取引過程の共有化

- ・ 取引先と共通情報で業務を行うことで、コミュニケーションロスを削減
- ・ 複数メンバーが事実を可視化・共有でき、取引事実の属人化を排除

■注文~決済まで一気通貫

- ・ 取引事実（注文~入出荷~請求照合）を企業間共通情報として管理
- ・ 取引先の消込情報を連携し、債権債務残高を見える化

② 様々なデータ連携が可能

■個々のEDI仕様の統一・集約

- ・ 中小企業共通EDIをもとにした企業間取引の標準化フォーマット
- ・ 自社はCBPとのAPI接続「1仕様のみ」で連携できる
- ・ 取引先は、既存のEDI仕様のままでCBPと連携することが可能

■豊富な連携アダプタ

- ・ ERP等のシステム、DB、ファイル等の連携アダプタがプリセットされている

③ 情報蓄積できるプラットフォーム

■個別情報の蓄積

- ・ 企業間で必要な情報を個別データとして蓄積することが可能

企業概要

名称	株式会社テクノスジャパン
所在地	〒163-1414 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー14階
電話番号	(03) 3374-1212 (代表)
代表者	代表取締役社長 吉岡 隆
資本金	5億6252万円
事業内容	企業向け経営・業務システムにおける DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業 - 企業向けDXのコンサルティング - 基幹システム（ERP）、顧客管理システム（CRM）、 DX協調プラットフォームサービス（CBP）を組み合わせた ビジネスコンサルティング - システムグランドデザイン、要件定義、設計、開発、保守に至る 一連のシステムサービス

連結子会社	沖縄テクノス株式会社（那覇市） ブレインセラーズ・ドットコム株式会社（千代田区） Tecnos Global Company of America, Inc.（米国 カリフォルニア州） Lirik, Inc.（米国 カリフォルニア州） Lirik Software Services Canada Ltd.（カナダ） Lirik infotech pvt ltd.（インド）
-------	--

国内拠点



本社

〒163-1414 東京都新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティタワー14階



イノベーションセンター

〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目11番2号
太陽生命日本橋ビル13階



中部オフィス

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2-18-25
丸の内KSビル13階



関西オフィス

〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目4-16
アクア堂島NBFタワー19F



テクノスジャパンe-ZUKAイノベーションラボ
〒820-0066 福岡県飯塚市幸袋576-14

ABC/ABMの実施をご要望の方には、
無償で現状の業務活動コストを分析させていただきます。

本件に関するお問い合わせは
以下までご連絡ください。

株式会社テクノスジャパン

E-mail : sales_cso@tecnos.co.jp

CBPサービスページ : <https://cbp.tecbp.com>

免責事項

本資料に記載されている情報の正確性については万全を期していますが、本資料の内容はその時点で入手し得た情報を根拠とし、さらにそれに基づく仮説を含んでいるものであり、その正確性を保証するものではなく、情報の使用に起因して生じる結果について、株式会社テクノスジャパンは一切の責任を負わないものとします。